

# 地域医療介護総合確保基金(医療分) について

埼玉県保健医療部医療整備課



# 基金の概要

- 「団塊の世代」が全て75歳以上となり、高齢化が一段と進行する2025年を見据え、国は、医療・介護サービスの提供体制改革を推進するための地域医療介護総合確保基金を創設。
- 国から交付される交付金に県の一般財源を追加し県が基金を造成し、県が作成する計画に掲載された事業に活用する。 (基金の負担割合：国2/3、都道府県1/3)  
(H29年度基金規模：医療分904億円、介護分724億円、合計1,628億円)

## 1 対象事業(事業区分)

- 1 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設・設備の整備に関する事業
  - ・病床の機能分化・連携のために必要な事業
- 2 居宅等における医療の提供に関する事業
  - ・在宅医療を推進するための事業
- 3 医療従事者の確保に関する事業
  - ・医師確保のための事業
  - ・看護職員の確保のための事業
  - ・医療従事者の勤務環境改善のための事業 等

国庫補助事業から当該基金に財源が移行した分が主となっている。

## 2 特徴

- 1 平成26年度に新設。平成26年度は医療分のみ。平成27年度以降は医療分と介護分の両方が対象。
- 2 平成26年度配分額は3つの事業区分間の調整が可能だったが、平成27年度からは3つの事業区分ごとに配分額が決定され、事業区分間の金額の調整はできないこととなった。
- 3 平成27年度から1の事業区分に重点配分する方向性が示された。
- 4 当面の間、毎年度交付される。

# 従来の国庫補助から当該基金に財源が移行した事業

- 1 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設・設備の整備に関する事業：なし
- 2 居宅等における医療の提供に関する事業
  - 在宅医療体制強化事業費(在宅医療部会など)
  - 小児在宅医療推進事業費
  - 在宅歯科医療連携推進事業
- 3 医療従事者の確保に関する事業
  - 総合医局機構の運営
  - 小児救急関係(産科医等手当支給など)
  - 女性医師就業支援
  - 新人看護師のための研修
  - 高度・専門分野の看護師資質向上
  - 病院内保育所運営費
  - 看護師等養成所運営費補助
  - 看護師宿舎整備などの勤務環境改善
  - 小児救急二次輪番補助
  - 小児救急電話相談

# 過去3年分の基金(医療分)の配分状況

単位:億円

事業区分	H26年度	H27年度	H28年度
	配分額	配分額	配分額
1 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設・設備の整備に関する事業	36.5	15.4	19.6
2 居宅等における医療の提供に関する事業		0.2	0.1
3 医療従事者の確保に関する事業		14.7	14.2
合計	36.5	30.3	33.9

H27年度以降は、区分1に重点配分

# 基金を利用した新規事業の状況

## 【平成26年度12月補正】

### ① 在宅歯科医療体制の充実

県内19の郡市歯科医師会に「地域在宅歯科医療推進拠点」を整備する。

## 【平成27年度当初予算】

### ① 在宅医療提供体制の充実

家族の援助が少ない高齢者でも安心して退院できる仕組みをつくるため、県内30の郡市医師会ごとに「在宅医療連携拠点」を整備するとともに、在宅の患者が急変した場合の入院ベッドを地域の医療機関に確保する。

### ② 後方支援医療機関(高次の救急医療機関から転院患者を受入れる医療機関)の支援

高次の救急医療機関と転院患者の受入れについての協定を締結した医療機関に対して、前年度実績を上回った受入件数に応じた補助を行う。

# 基金を利用した新規事業の状況

## 【平成28年度当初予算】

### ① 病床の機能分化・連携を促進するための基盤整備事業

2025年に大幅な不足が推計される回復期病床（地域包括ケア病床及び回復期リハビリテーション病床）へ転換を行う医療機関に対して、必要な施設・設備整備費用を補助する。

### ② ICTを活用した地域医療ネットワーク基盤整備事業①

地域に必要な医療・介護関係者の多職種間における情報共有の効率化を図るため、地域一体となって関係者間で医療・介護情報を入力・参照できる医療介護連携システム導入を支援する。

### ③ ICTを活用した地域医療ネットワーク基盤整備事業②

さいたま新都心に整備している総合周産期母子医療センターにおいて、他の産科医療機関で撮影した胎児の超音波画像やMRI画像を閲覧できるシステムを導入する。

# 基金を利用した新規事業の状況

## 【平成29年度当初予算(県議会にて審議中)】

### ① 在宅医療を担う幅広い分野の看護師の確保・育成

在宅医療の更なる推進のため、訪問看護ステーションや介護施設の看護師の研修体制を充実する。

### ② ICTを活用した地域の病院・診療所連携の推進

利根保健医療圏における医療連携ネットワークシステム「とねっと」のシステム更新に伴い、システム事業者が所有する基幹システムを利用するSAAS化方式に移行するための経費を支援する。

#### ※SAAS化

- ・システムベンダーが所有するシステムを活用して利用料を支払う方式
- ・ユーザーが基幹システムを所有しないため、システム更新が不要
- ・ソフトウェアのバージョンアップ、不具合の修正や期間サーバーの更新はシステムベンダーが負担  
⇒ 導入経費やランニングコストが大幅に削減



# 病床転換に係る基金の活用について

- 地域医療構想で大幅に不足すると推計されている回復期病床(地域包括ケア病床及び回復期リハビリテーション病床)への転換を促進するため、平成28年度から補助事業を実施

## (1) 施設整備費補助

地域包括ケア病床及び回復期リハビリテーション病床を整備するために必要な新築・増改築及び改修に要する工事費又は工事請負費

※事業期間が複数年度にわたる事業も可

## (2) 設備整備費補助

地域包括ケア病床及び回復期リハビリテーション病床を整備するために必要な医療器機器等の備品購入費

### 【補助金額】

区分		基準額(上限額)	補助率
施設整備費	新築・増改築	転換病床1床あたり 4,313千円	1/2
	改修	転換病床1床あたり 3,333千円	1/2
設備整備費		1施設あたり 10,800千円	1/2

### 【交付決定状況】

種別	地域包括ケア	回復期リハ
施設整備費	4病院	—
設備整備費	9病院	1病院

### 【補助金利用例】

- 施設整備費補助：リハビリ室の増築、  
部屋の改修(1人部屋→2人部屋、4人部屋→2人部屋×2部屋)
- 設備整備費補助：リハビリ用具の購入、ベッドの入れ替え、  
データ加算に対応するためのシステム導入 など

# 【参考】地域包括ケア病床及び回復期リハ病床の実態調査結果

○ 県内の地域包括ケア病床及び回復期リハビリテーション病床の実態を把握するために、  
県医師会と県の合同で調査を実施

(1) 調査対象：一般病床及び療養病床を有する県内の病院(294病院)

(2) 調査期間：平成28年9月23日～10月14日

(3) 回答率：70.4%

(4) 調査結果

**「不足」、「やや不足」が56.3%**

**「不足」、「やや不足」は42.6%**

①地域包括ケア病床 の過不足感	全体		包括ケア保有		回リハ保有	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
(1)不足している	72	36.2%	14	34.1%	15	30.0%
(2)やや不足している	40	20.1%	10	24.4%	9	18.0%
(3)どちらともいえない	80	40.2%	14	34.1%	25	50.0%
(4)概ね充足している	6	3.0%	3	7.3%	1	2.0%
(5)充足している	1	0.5%	0	0.0%	0	0.0%
計	199	100%	41	100%	50	100%

②回復期リハ病床 の過不足感	全体		包括ケア保有		回リハ保有	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
(1)不足している	37	19.7%	3	9.1%	6	11.3%
(2)やや不足している	43	22.9%	8	24.2%	10	18.9%
(3)どちらともいえない	66	35.1%	10	30.3%	15	28.3%
(4)概ね充足している	26	13.8%	8	24.2%	13	24.5%
(5)充足している	16	8.5%	4	12.1%	9	17.0%
計	188	100%	33	100%	53	100%

**「充足」、「概ね充足」は3.5%**

**「充足」、「概ね充足」は22.3%**

**36.3%**

**41.5%**

③地域包括ケア病床 の今後の方向性	全体		包括ケア保有		回リハ保有	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
(1)増やす必要あり	125	64.1%	25	61.0%	29	59.2%
(2)現状程度で十分	52	26.7%	13	31.7%	14	28.6%
(3)減らす必要あり	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
(4)その他	18	9.2%	3	7.3%	6	12.2%
計	195	100%	41	100%	49	100%

④回復期リハ病床 の今後の方向性	全体		包括ケア保有		回リハ保有	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
(1)増やす必要あり	89	48.6%	12	36.4%	15	29.4%
(2)現状程度で十分	82	44.8%	20	60.6%	34	66.7%
(3)減らす必要あり	1	0.5%	0	0.0%	1	2.0%
(4)その他	11	6.0%	1	3.0%	1	2.0%
計	183	100%	33	100%	51	100%

**「増やす必要あり」が6割以上**

**6割が「現状程度で十分」**

# 【参考】医療圏ごとの地域包括ケア病床 実態調査結果

## 医療圏ごとの過不足感【地域包括ケア病床】

医療圏	回答数	不足	やや不足	どちらでもない	概ね充足	充足
南部	16	37.5%	0.0%	62.5%	0.0%	0.0%
南西部	15	46.7%	13.3%	33.3%	0.0%	6.7%
東部	32	43.8%	9.4%	46.9%	0.0%	0.0%
さいたま	23	43.5%	17.4%	34.8%	4.3%	0.0%
県央	11	18.2%	45.5%	36.4%	0.0%	0.0%
川越比企	28	32.1%	21.4%	35.7%	10.7%	0.0%
西部	31	22.6%	41.9%	35.5%	0.0%	0.0%
利根	14	21.4%	21.4%	57.1%	0.0%	0.0%
北部	22	50.0%	9.1%	31.8%	9.1%	0.0%
秩父	7	42.9%	28.6%	28.6%	0.0%	0.0%
合計	199	36.2%	20.1%	40.2%	3.0%	0.5%

## 今後の方向性【地域包括ケア病床】

医療圏	回答数	増やす	現状維持	減らす	その他
南部	16	56.3%	37.5%	0.0%	6.3%
南西部	15	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
東部	32	59.4%	34.4%	0.0%	6.3%
さいたま	22	72.7%	22.7%	0.0%	4.5%
県央	11	81.8%	9.1%	0.0%	9.1%
川越比企	27	59.3%	33.3%	0.0%	7.4%
西部	30	63.3%	13.3%	0.0%	23.3%
利根	14	42.9%	35.7%	0.0%	21.4%
北部	21	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%
秩父	7	85.7%	0.0%	0.0%	14.3%
合計	195	64.1%	26.7%	0.0%	9.2%

## 医療圏ごとの地域包括ケア病床数(平成28年10月1日時点)

医療圏	病院数	病床数	人口10万対病床数	医療圏人口	医療圏	病院数	病床数	人口10万対病床数	医療圏人口
南部	6病院	141床	17.8床	792,269人	西部	7病院	154床	19.8床	777,668人
南西部	2病院	60床	8.4床	714,810人	利根	5病院	112床	17.4床	645,466人
東部	5病院	128床	11.2床	1,145,755人	北部	5病院	138床	27.2床	508,011人
さいたま	3病院	96床	7.5床	1,275,331人	秩父	2病院	49床	48.9床	100,168人
県央	1病院	8床	1.5床	528,672人	<b>全県</b>	<b>47病院</b>	<b>1,134床</b>	<b>15.6床</b>	<b>7,288,081人</b>
川越比企	11病院	248床	31.0床	799,931人					

※出典：関東信越厚生局「地域包括ケア病棟入院料及び地域包括ケア入院医療管理料」の届出を行っている医療機関(H28. 10. 1)

※医療圏人口：埼玉県推計人口 平成28年10月1日現在

# 【参考】医療圏ごとの回復期リハ病床 実態調査結果

## 医療圏ごとの過不足感【回復期リハ病床】

医療圏	回答数	不足	やや不足	どちらでもない	概ね充足	充足
南部	14	14.3%	28.6%	57.1%	0.0%	0.0%
南西部	15	0.0%	20.0%	33.3%	33.3%	13.3%
東部	31	22.6%	29.0%	22.6%	9.7%	16.1%
さいたま	22	31.8%	27.3%	22.7%	18.2%	0.0%
県央	11	18.2%	36.4%	18.2%	18.2%	9.1%
川越比企	26	3.8%	19.2%	53.8%	15.4%	7.7%
西部	30	16.7%	13.3%	30.0%	20.0%	20.0%
利根	14	14.3%	28.6%	42.9%	14.3%	0.0%
北部	19	52.6%	10.5%	36.8%	0.0%	0.0%
秩父	6	16.7%	33.3%	50.0%	0.0%	0.0%
合計	188	19.7%	22.9%	35.1%	13.8%	8.5%

## 今後の方向性【回復期リハ病床】

医療圏	回答数	増やす	現状維持	減らす	その他
南部	13	53.8%	46.2%	0.0%	0.0%
南西部	13	23.1%	69.2%	0.0%	7.7%
東部	32	53.1%	40.6%	3.1%	3.1%
さいたま	22	63.6%	36.4%	0.0%	0.0%
県央	11	63.6%	36.4%	0.0%	0.0%
川越比企	25	24.0%	68.0%	0.0%	8.0%
西部	29	41.4%	48.3%	0.0%	10.3%
利根	14	42.9%	35.7%	0.0%	21.4%
北部	18	77.8%	22.2%	0.0%	0.0%
秩父	6	50.0%	33.3%	0.0%	16.7%
合計	183	48.6%	44.8%	0.5%	6.0%

## 医療圏ごとの回復期リハ病床数(平成28年10月1日時点)

医療圏	病院数	病床数	人口10万対病床数	医療圏人口	医療圏	病院数	病床数	人口10万対病床数	医療圏人口
南部	4病院	262床	33.1床	792,269人	西部	10病院	511床	65.7床	777,668人
南西部	6病院	270床	37.8床	714,810人	利根	6病院	337床	52.2床	645,466人
東部	11病院	743床	64.8床	1,145,755人	北部	2病院	98床	19.3床	508,011人
さいたま	6病院	353床	27.7床	1,275,331人	秩父	1病院	40床	39.8床	100,168人
県央	5病院	207床	39.2床	528,672人	全県	57病院	3,379床	46.4床	7,288,081人
川越比企	6病院	558床	69.8床	799,931人					

※出典: 関東信越厚生局「回復期リハビリテーション病棟入院料」の届出を行っている医療機関(H28.10.1)

※医療圏人口: 埼玉県推計人口 平成28年10月1日現在